

会 議 録

平成 30 年度 第 2 回食育推進コンソーシアム会議

開催年月日・召集時刻 平成 30 年 9 月 20 日（木） 午後 2 時 00 分～3 時 00 分

開催場所 和光市保健センター2階集団指導室

開 会 時 刻 午後 2 時 00 分

閉 会 時 刻 午後 3 時 00 分

出席委員

事務局

保健福祉部長	星野 裕司
保健福祉部次長兼健康保険医療課長	大野 孝治
地域包括ケア課長	阿部 剛
健康保険医療課長補佐	渡部 剛
健康保険医療課副主幹	
兼保健センター所長	牧田 いづみ
健康保険医療課統括主査	梶原 絵里
健康保険医療課管理栄養士	佐藤 由紀子
健康保険医療課管理栄養士	吉田 智子

欠席委員

備
考

<p>司会</p>	<p>本日は、お忙しい中、多数の方にご出席いただきましてありがとうございます。会議の開会に先立ち、本日、配布させていただいた資料のご確認をお願いします。</p> <p>平成 30 年度第 2 回会議次第、出席者名簿、座席表、平成 30 年度第 2 回会議資料（平成 30 年度食育推進の取組について）、参考資料「わこう食育推進店」普及リーフレットを配付させていただいております。資料に不足がある方は挙手をお願いします。なお、本日は、会議録作成のため、録音を行っておりますが、会議録作成後に消去させていただきますのでご了承ください。</p> <p>それでは、只今より、平成 30 年度第 2 回食育推進コンソーシアム会議をはじめさせていただきます。</p> <p>本日、司会をつとめさせていただきます、保健センター所長 牧田と申します。どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは次第に従いまして進行させていただきます。</p> <p>はじめに、保健福祉部長よりご挨拶申し上げます。星野部長、よろしくをお願いします。</p>
<p>星野部長</p>	<p>本日は、大変お忙しい中、また雨の中、第 2 回和光市食育コンソーシアム会議にご出席頂きましてありがとうございます。</p> <p>第 1 回会議では、第 3 次和光市食育推進計画に基づく今年度の取組予定について、ご説明させていただきまして、わこう食育推進店の普及、促進についての取組内容について色々ご意見を頂きました。</p> <p>本日は、その進捗状況について報告し、また市民まつりでの普及イベント実施企画について協議させて頂きたいと思っております。</p> <p>食は毎日のことですが、ただエネルギー補給のために食べているわけではありません。健康な体づくりと心も豊かに保つためにも食はあります。その為は何をどこでどの時間にどのくらいの量を食べるかは非常に大切な要素であると思っています。何を食べたらいいいのかと考えるときにはその裏には何を食べたら身体に悪いのかも合わせて考える必要があります。市民の皆様にはこの一番身近な健康への源である食にもっと関心をもってもらえるように私たちのこの会議で推進をすることができたらなと思っております。どうぞ本日も忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。どうぞよろしくお願いいいたします。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>本日は、今年度より 7 月より開始した「わこう食育推進店」の進捗状況</p>

<p>事務局 (佐藤)</p>	<p>についてご報告した後、市民まつりでの普及イベントについて、実施概要と皆様から事前にご提出いただいた企画案をもとに協議を進めてまいります。</p> <p>始めに、わこう食育推進店の進捗状況について、担当より、ご説明申し上げます。</p> <p>健康保険医療課の佐藤と申します。よろしくお願いいたします。わこう食育推進店の登録にあたっては、皆様にご協力をいただきましてありがとうございます。今回の会議開催の通知とあわせて一度お手紙でお知らせしましたが、改めて進捗状況について、こちらのスクリーンでご報告いたします。皆様のお手元にお配りいたしました資料1はスクリーンと同一の内容となっております。</p> <p>2Pをご覧ください。前回の会議では、第三次食育推進計画が策定され、生活習慣病やそれに伴う医療費の増加を受けて、予防に重点を置いた食育を推進していくことについて、皆さんと確認しました。</p> <p>食生活改善、生活習慣病の予防のためは、目標にも挙げているように、バランスよく食べる（主食主菜副菜をそろえること）や減塩（食塩摂取量の減少）が重要ですが、これらを達成するには、やはり行政の力だけでは限界があり、外食や惣菜利用するときであっても、野菜が食べられる、塩分を控えられるといった食環境が求められています。</p> <p>そこで、地域の中でも健康に気をつけた食事がとりやすい食環境づくりに公民協働で取り組んでいくということがこの食育コンソーシアムが果たす役割となっています。</p> <p>3Pをご覧ください。前回皆様にもご了解いただいたとおり、健康に配慮した商品やメニューを市独自の基準で認定し、認定マーク等を通じた情報発信にご協力いただける店舗等を「わこう食育推進店」として登録する、そして地域全体でPRしていくという取組を7月より開始したところです。</p> <p>4Pは、登録店でのポスター掲示の様子です。協力店であること目印として、こちらの認定ポスターをこのよう到来店の際に目につきやすいお店の外扉や入口付近に掲示していただいています。</p> <p>5Pをご覧ください。こちらの表は、H30.9月現在の登録状況です。登録店舗はこちら（たて）13か所、よこは基準ごとの商品の登録数になっています。商品数としては全部で384品登録されています。</p> <p>どのような商品が該当になっているかについては、先日通知でお送りした店舗ごとの認定マーク添付商品リストやホームページでもご確認いただけますが、たとえば減塩では、しょうゆ・みそ・だし類などの調味料や、</p>
---------------------	---

かまぼこ・たらこ・ツナ・サバ缶といった魚の加工品や、ハム・ベーコンなどの肉の加工品のほか、即席スープやカップ麺など、一般的に塩分が多く含まれる食品の中で食塩が低減された商品が中心になっています。減糖では、砂糖が含まれない飲料やジャム、甘味料を使わずに砂糖が低減されている菓子類、減脂では低脂肪の乳製品などがあります。また野菜たっぷりとしては、1/2日分の野菜が食べられるといった惣菜や、野菜100%の野菜ジュースなどが多く登録されています。

なお、セブンイレブン様については、全体の取扱商品としては、「野菜たっぷり」の項目以外にも認定商品がありますが、9月に市内7店舗統一の形でスタートしたばかりのため、現時点では2品ということになっています。

6Pは、登録店での認定マークの表示の様子です。スーパーマーケット店頭では、各該当商品にこのように名刺サイズの認定マークをプライスレールに入れて表示しています。

7Pをご覧ください。池田屋様では「オリジナルブレンドのだしパック」に「減塩」マーク、ひまわり様では「できるだけ和光のもので作られたお弁当やお惣菜」に「わか産わか消」マーク、またセブンイレブン様では「1/2日分の野菜がとれるシリーズの商品」に「野菜たっぷり」マークを使って商品を推奨しています。また農業後継者倶楽部様では、各種まつりや市場の中で「わか産わか消」と「野菜摂取」をPRしています。

8Pをご覧ください。認定マークとあわせて、店舗ごとに売り場での情報発信にも取り組んでいただいています。イトーヨーカドー様では、昨年度に引き続き、献立や調理方法の提案として毎月19日（食育の日）に減塩減糖メニューの試食が行われており、毎月のレシピは市のホームページでも紹介しています。

またセブンイレブン市内7店舗では、今月から、買い方プログラムとして、おにぎりやお惣菜でのバランスのよい選び方についての提案を開始しました。朝・昼・晩の食事を想定して、主食・主菜・副菜をそろえて食べる具体的な組合せの例を示し、商品を選び取る際に参考にしてもらうために掲示しているものです。

実際の取組の様子が9Pになります。セブンイレブン様では、今月より開始してみて、掲示物が使いにくく見にくい、また商品の陳列変更や入替えが多く取扱のない店舗があるなど、改善点が見えてきたところです。食育認定マークとお店側の推奨商品のすり合わせする、コーナー化するなどして、改善しながら進めていきたいと考えています。また、買い方プログラムでのバランスのよい食べ方の提案については、今後スーパーマーケット

トのお惣菜コーナーなどでも同様に展開できればと思っています。

10Pをご覧ください。ここまでで申し上げた「わこう食育推進店」の取組を、地域全体でPRし、まず広く知ってもらい、そして食生活に活用してもらうために、事務局では市民向けのリーフレットを作成しています。別紙で配布したカラー資料を合わせてご確認ください。

左「減塩減糖」リーフレットは昨年度の食育イベントでも配布したのですが、「なぜ減塩減糖なのか」、また「自分が普段の食事ではどんなことに気をつけたらいいのか」食事チェックと改善のコツを市民向けにまとめたものです。右「わこう食育推進店」リーフレットは推進店とその取組についてのご案内になっています。本日皆様にご説明申し上げた内容をオモテ面に「店舗での認定マークの表示」についてウラ面に「減塩減糖レシピ」「買い物プログラム」の取組についてまとめて紹介しています。

保健センターでは、メタボ予備軍や服薬中で保健指導の対象を中心にこうしたリーフレットを送る、個別支援の中で情報提供していくなどして個人の食事状況の改善にも成果を出していきたいと思っています。市の各ご担当や相談支援機関の皆様の所でも、今後何か事業を行う中で紹介や配布をする、あるいは相談支援の中で提案する、各所で発行するプリントやおたよりの中に内容を盛り込むなどして、利用者に対して積極的に情報提供を行い、「食の大切さを伝える」、「地域ぐるみで食育を推進する」という点においてぜひご協力をお願いします。本日は、活用するにあたってこの点が使にくい、こういう資料やツールがあると説明しやすいなどのご意見もお寄せいただけたらと思います。

11Pをご覧ください。地域での食環境づくりの取組の1つとして7月より開始した「わこう食育推進店」ですが、その店舗登録数は現在13か所、商品登録数は384品になっています。

市民の食生活の改善につなげてもらうという目標達成に向けて、次年度以降も継続していくにあたって、新たに登録数（供給）を増やしていくとともに、認知度や利用状況（需要）の評価を行い、実施方法や普及ツールの見直しを行いたいと考えています。

そこで推進店では、数ある認定商品の中でどの商品について見ていくかなど、検討したうえで、年度末までの約半年の期間での認定マーク商品の売上状況の変化を数値で見てください、取組方法を検証していく、また、各拠点ごとに年度末までのリーフレットの配布数や活用数をご報告いただき、普及ツールの見直し改善を図りたいと考えていますので、その点も踏まえて普及活動へのご協力をお願いします。

司会	本内容についてご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。
すたんど・あっぷ (野川)	すたんどあっぷ和光の野川です。ご説明ありがとうございます。お店などでもこのマークを見かけるようになりまして進んできているなあと思っているんですけど、この減塩とか野菜たっぷりの定義みたいなものがあるのでしょうか？例えば減塩というものを例えば定義に義務付けなきゃいけないっていう、そういう医師からの指示が出ている人が減塩だと思ってそれを買ってしまって大丈夫なものか、その減塩といたら例えば一般的な商品に比べて気を付けていますよってくらいのことなのか、塩分1%までのものをいっているのかどうか、その定義みたいなものがどこかで一覧表みたいなものになっているといいなと思います。既にあつたら申し訳ないですけど。
事務局 (佐藤)	今回、この商品のほうに減塩減糖のマークをつけるにあたっては、例えば減塩であれば、従来の商品から25%以上食塩が低減されているなどといったような形で前回の会議で少しご提示させて頂きましたように実施要領として市独自の一定の基準を設けておりまして、それに該当する商品について添付をしているという形になります。減塩という表現に関しては、もちろんいろんな方がいて、何でも減らせばいいというわけではないんですけども、インパクトとかネーミングとして減塩減糖という形で表現させていただいているというところです。
すたんど・あっぷ(野川)	それはどこかで一覧表みたいなものになっていて、お店でみられたりとか、自分でこれは何パーセントかとか確認できたりとかできるような感じになっているのか。
事務局 (佐藤)	マークのついている商品リストというものは作成をしております、市のHPなどでも公開をしております。実際に店頭に行ったときに商品を見ていただければ、マークのついている商品については、基本的には商品のパッケージの中にも何パーセントカットとかいう表示をされている商品がほとんどになっております。
星野部長	その商品の中で、全体の1パック何gという表示はしている？それを全部完全に完食したときは塩分を何グラム(1食)入っていたとか、そういう表示はしているんですよね？
事務局 (佐藤)	これを食べたら何グラムとれるかということに関しては、それぞれの商品にごとについている栄養成分表示を見て頂くことになるので、商品1つであったり、あるいは100gあたりであったり表示の単位は、統一されてはおりません。

<p>ぼけっと (山口)</p>	<p>医師からの指示がある人は、表示がまちまちなので、そこを基準にしてはいけないかと思います。そういう方には、やっぱり主治医の指示に基づいてやって下さいという方法が必要なのかなと感じます。あと、質問で、店舗ですね。今、限られた店舗で、これを増やしていく方向なんですよ。その増やし方は何か考えているのですか？</p>
<p>事務局 (佐藤)</p>	<p>今、お集まりの皆さんも、保健センターのほうから一度お声がけをさせて頂きまして、ご協力を頂けるということで手を挙げてくださった方にお集まりいただいています。その際、中にはどういうことをやっていくのかわからないとご参加に躊躇されたようなお店などもありましたので、改めてまずは市内のスーパー飲食店を中心に、こちらからこういう取組をしているという趣旨説明と、ご協力の依頼を事務局のほうで随時進めてさせて頂きたいなと思っております。</p>
<p>司会</p>	<p>他によろしいでしょうか。今後も、引き続き登録と随時更新を進めてまいりますので 皆様には、活用と周知のほうにご協力お願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>次に市民まつりでの普及イベントの実施企画について担当よりご説明申し上げます。</p>
<p>事務局 (佐藤)</p>	<p>では引き続き、スライドの12Pをご覧ください。普及イベントについてご説明いたします。</p> <p>今回スタートした取組を衰退させることなく続けていく、あるいはさらに新規店にも今後展開していくにあたっては、まずはコンソメンバーが同じ方向を向き、その結束を強めることが重要となります。そこで今年度は、人の集まる市民まつりを1つチャンスとして、食育コンソーシアム全体に係るイベント実施を予定しています。</p> <p>目的は、食育の意識づけ、推進店の認知・普及を図ることとし、日時は、11月11日(日)10時～15時、会場は健康フェア会場である和光市保健センターとなります。内容としては、食の大切さを伝え、食生活の振り返りをしてもらうための食育講座や健康相談、また具体的な実践方法の提案としての試食や推進店の取組紹介などを計画しています。準備運営にあたっては、食育コンソーシアムメンバーの皆さまと、ヘルスサポーターや食生活改善推進員といった市民ボランティアの方にご協力いただき実施します。</p> <p>13、14Pをご覧ください。会場となる保健センターでは、健康をテーマに毎年各団体が企画を用意し、1階では、歯科医師会や歯科衛生士会、また薬剤師会による体験型企画のほか、成人や高齢者向けの各測定会の実</p>

施が予定されています。

なお、今年は朝霞地区4市合同の健診の受診率向上キャンペーンとして、食育をはじめ健康づくりのイメージキャラクターである「けんこう大使のわこうっち」をはじめ、各市のけんこう大使着ぐるみが登場してPRをします。

また14Pになりますが、2階では、運動面の企画として、健康マイレージ事業の開始を受けて、歩行姿勢チェックがあります。こうした中で今回は、この保健センター2階に食育ブースを設け、食育コンソーシアムから何か食を切り口とした健康づくりへのアプローチができないかということで皆様に事前アンケートで企画のご意見を伺ったところです。

皆様から挙げられた企画案が15、16Pになります。食育ブースでの対面の企画としては、子育て世代包括支援センターご協力により、乳幼児の授乳やおむつ替えスペース提供を兼ねた乳幼児の計測や発育発達、栄養等の相談の実施について、また農業後継者倶楽部様からは「じゃがいもができるまで」についてのオリジナル紙芝居のご用意があるということで、ご回答いただいています。保健センターでは、減塩減糖でもおいしいことを体感してもらうための認定マーク商品の試食会ができないかと考えております。今回市民まつりの中でオリジナルブースを出店されるこちらの6つの団体様（池田物産、ひまわり、農業後継者倶楽部、ゆめちか、ゆうゆう、すたんどあっぷ）には、出店の中で食育のPRにもご協力いただけたらと思います。

16Pになりますが、パネルや商品の展示について、ぼけっとステーション様から、全世代に向けて食事の見直しや選び方について情報提供に関するパネル、高齢者向けには、長寿あんしん課からは、ぼけっとステーション様わこう福祉会様とのコラボによる介護食についての展示、またわこう福祉会様から低栄養予防のための食事に関する展示についてご回答いただいています。また推進店や認定マーク商品の情報提供に関しては、ひまわり様から認定マーク商品の紹介とあわせて、クイズご解答者には粗品プレゼントといったインセンティブのご用意について、池田物産様から認定マーク商品のご紹介として商品展示や活用レシピの配布について、またセブンイレブン・ジャパン様からは、パネル、商品の展示・試食サンプル提供についてご検討中と伺っています。推進店のPRについては、スーパーマーケット様にもぜひ展示とPRへのご協力をご検討いただきたいと考えております。

17Pをご覧ください。会場レイアウトですが、本日会議を行っている

司会	<p>この部屋半分と調理室を使用して、壁面側に展示、中央に試食や対面での企画の配置を考えています。また乳幼児の計測や相談には和室を利用できます。</p> <p>18Pをご覧ください。こちらには、イベント当日までのおおよそのスケジュールをまとめました。当日までおよそ1ヶ月半と短い期間となりますので、各拠点での展示・配布物については、順次作成準備を進めていただきますようお願いいたします。また当日の運営については、ご協力いただける方々を中心に、担当者部会として10月初旬から運営会議を行い、細かい事項の決定と準備を進めていきます。関係者には日程を調整させていただく予定です。</p> <p>19Pをご覧ください。普及イベントにおける目標については、7月から開始したわこう食育推進店の取組の認知と、食への意識関心を高めることを第1段階として、普及ツールの配布数を目標値として設定します。和光市が約4世帯として、その2%にあたる800名（世帯）を目標とし、統一のツールの配布数で来場者数、認知数をカウントしていきます。保健センター内の食育ブースと各拠点の独自ブースでの配布数を合わせて算出します。</p> <p>バランスの良い食事や減塩を実践する人を増やし、それを疾病予防といった体の変化にまで結びつけるには、意識づけとその定着に向けて、継続的な普及活動が必要となります。今回のイベントを足掛かりにして、今後は関心がある人もない人も多く集まるところや、直接売り場に出向くなど、様々な形でさらなる普及活動へとつなげていけたらと思います。</p> <p>なお、普及ツールとしては、今回作成したような普及リーフレットを想定していますが、昨年度イトーヨーカドー様でのイベントの振り返りにおいて、その場限りではなく、家庭でも継続してもらうためのツールの作成開発の必要性についてもご意見もありましたので、配布するツールについてご提案等もございましたらぜひお願いいたします。</p> <p>それでは、担当から今年度の健康フェアにおける食育ブースのイベントの企画案の説明が終わりましたので、この後の時間を使いまして、イベントの企画案をイベント企画として決定していければと思います。食育推進コンソーシアム会議に参加の団体様には、何らかの形でパネルの制作なりリーフレットの配布協力などご参加いただければと思いますのでよろしく申し上げます。</p> <p>いま、担当からのご説明を聞いてご意見やご質問等がありましたら、聞いてみたいと思います。その後に企画に対して提案団体でこういう形はと</p>
----	---

中央子育て(水澤)	<p>れないかという調整などをしていきたいと思しますので、ご意見等ありますでしょうか。</p> <p>そうしましたら、ページの15、16ページの企画案の方を決定していきたいと思えます。担当からの説明がございましたが企画の提案団体から補足を含めてご説明を頂ければと思えます。子育て世代包括支援センターさんの赤ちゃん休憩室、育児相談について説明をお願いします。</p> <p>産前産後ケアセンターというところに前いたもので、毎年健康フェアに出させていただいて、主に育児相談、児の計測を行っていて、大人の方も計測にくるような状況です。これまでは、食事に特価してやっていたわけではないのですが、離乳食の相談が多いもので、先日、イトーヨーカドー様でやられたイベントの時のようにレシピ集を用意したりとか、栄養士さんが一緒にこの場にいてくれるとメニューの工夫とかの相談も一緒にできるので、今年は食育のイベントということなので、栄養士にも相談の場にていてくれたらいいなあと考えております。</p>
司会	<p>このブースは子育て世代包括支援センター3ヶ所で協働して実施していただけるということでよろしいでしょうか。</p>
中央子育て(水澤)事務局(佐藤)	<p>はい。</p> <p>栄養士の配置といった所では、全体の配置も踏まえながら栄養士が協力して実施、対応できるような形で考えていきたいと思えます。</p>
司会	<p>では、農業後継者倶楽部さんはオリジナルの紙芝居をご用意していただけるということで、何かございますでしょうか。今日お持ちいただけてことで、ご紹介いただければ。</p>
農業後継者倶楽部	<p>こちらになるんですが、うちが市からジャガイモ掘りの事業を委託されておりまして、保育園の園児さん向けに実施していますが、何分食育を広くやりたいので、できるだけ多くのお子さんに見ていただきたいと思っており、今回県の補助を受けることができましたので、このじゃがいもの紙芝居を増刷して市内のすべての保育園さん、幼稚園さん、子育て世代包括支援センターとか児童館とか思い当たるところは配ってみようと思っております。広くやっていたら、お子さんがどっかで一回は見るかなと、そしておいおい食べ物に興味を持ってもらって、大人になってからもきちんと食べなきゃとかそんな風に繋がってもらったらいいなと思っておりまして、今回こういったものを作りました。それを市民まつりの場をおかりしまして、普段やっている読み聞かせをやりたいなと思っております。</p>

<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。細かい部分はまた、運営の方の担当部会で決めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>次に独自出店ブースでの食育PRとしまして、市民まつりでのブースで池田物産、ひまわり、農業後継者倶楽部、ゆめちか、高齢者福祉センターゆうゆう、すたんど・あっぷさんが参加されますので、先程のスライドでも農業後継者倶楽部さんのテントの様子でしたが、できる範囲での食育認定マークについてリーフレットの配布にご協力いただければと考えておりますが、よろしいでしょうか。では、ブースでの食育PR協力ということでよろしくお願いします。</p> <p>16ページの展示の企画案ですが、事前のアンケートでご記入いただいた団体さんのご回答をあげさせていただいております。左の四角の囲みの方なんですけれども、高齢者を対象にも展示などのご提案もございましたので、そこについてもご説明をお願いしたいと思います。長寿あんしん課さん、お願いします。</p>
<p>長寿あんしん課（堀江）</p>	<p>高齢者の食事というところで、今回、減塩減糖というような食育なんですけれども、今度、介護が必要になった時、皆さんイメージがわからないかなと思ひまして、和光福祉会さんとかお話ししてないんですけれども、介護食や施設で出す食事ってどういうものかとかそういうものの普及啓発もこの機会に出来たらなと思っておりますが、いかがでしょうか。また、ご相談させていただけたらなと思ひます。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。和光福祉会さんのほうからも高齢者さんの食事をご提案いただけてます。今の長寿あんしん課からのお話しも含めていかがでしょうか。</p>
<p>和光福祉会</p>	<p>高齢者の栄養にかかわっていて、一番気になるのは、減塩減糖などもそうなんですけど、低栄養の状態の方も多いので特に減糖減脂となると控える食事ということになると思うのですが、高齢期になってくると足りない方が本当に多くて新しく入ってくる方の8割以上が低栄養の状態が現状であるというふうに感じております。その中で、そうならないような食生活の過ごし方、自分の正しい体格のとらえ方、やせているとか、太っていないことが正しいことではなく、その方その方にあった適切な体格がどのようなものかっていうことを知っていただいて、どうしたらそれを維持できるのかってことをお伝えできればと思ひてこの企画を立てていただこうと思ひていました。長寿あんしん課さんから提案いただきました食事の内容なんですけれども、どうしても施設の食事は大量に作りますので、家庭で対応するにはなかなか難しいとは思ひますが、でも全く何もご存じない方に</p>

	<p>対して、どういったなめらかさとかやわらかさとか質のものがいいとお伝えすることはできるかなと思いますので、相談させていただければと思います。よろしくお願いします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。ぽけっとステーションさんは全世代という形で対象者をあげて頂いていますが、高齢者もそこに含まれると思いますので、この3団体でのコラボという点でいかがでしょうか。</p>
ぽけっと (山口)	<p>このテーマを考える時になんで、先程、野川さんもおっしゃっていたように、なんで減塩なんだろう、なんで減糖なんだろうというところから説明をしなきゃなと思いました。「減塩をしたものをいっぱい食べたら、減塩ではなくなる」という話もしたいのと、高齢者の方もそうなんだけど、お子さん方についても、そのお母さん方が食事が作れないってところもあるんで何を子供たちに食べさせたらよいか、自分たちは何を食べたらよいかっていう所も含めて、全世代でやりたいなってことで考えています。</p>
司会	<p>ありがとうございます。全世代に高齢者も含まれるという観点からぽけっとさん、長寿さん、和光福祉会さんで高齢者の部分のコラボという形で一つ展示なり参加いただけることとことでよろしいでしょうか。</p> <p>ぽけっとステーションさんの全世代になりますと、乳幼児から成人期、高齢者という形になっていきますので、この部分に関しては行政の方の栄養士が保育部門、学校部門、保健センター部門にありますので、コラボとか一緒にパネル展示、展示品等でやっていければと思いますので、そこを含めてよろしくお願いします。</p> <p>イベント企画案や商品展示等のパネルについては、提案されたものを実施する形でコンソーシアム会議のほうで承認を受けて実施するっていうことで進めていきますので、よろしくお願いします。</p> <p>続きまして、駅前ひまわりさんもご提案を頂いております。先程担当から説明申し上げましたように、認定マークの商品の紹介といった所で、食育に関するクイズをご用意して頂きまして、そちらにご回答頂いた方には粗品を贈呈するというようなご用意を予定されているということですが、何か補足等ございますか？</p>
駅前ひまわり 司会	<p>大丈夫です。 かつをぶし池田屋さんお願いします。</p>
池田物産	<p>食育認定マーク該当の商品にだしパックの商品があるんですけども、だしパック自体にも塩分量だとか表示されているんですけども、その他</p>

<p>司会</p>	<p>にもリーフレットとしてだしパックの使い方や、何種類かですメニューのレシピが載っていて、そこにもこれだけ塩分量、1パックに対しておだしとるとこれくらいの塩分で控えられますよというような、そういったレシピをおつけするというような形になります。</p> <p>ありがとうございます。駅前商店ひまわりさん、池田物産さんにもご協力頂きたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。以上が今年の健康フェアでの食育コンソーシアムのイベントとなりますが、推進店のPRについても可能であればスーパーマーケット様にも展示なり、PRなりご参加頂ければと思っている所なんですけれどもいなげやさんいかがでしょうか？</p>
<p>事務局 (佐藤)</p>	<p>保健センター食育ブースの中で、わこう食育推進店や認定マークのPRを実施するにあたり、市民まつりに来た方に、そういう取組を始めましたということを紹介するために、写真や該当商品をご提供頂くなどして、実際にこういうものについているだとか店頭に行く前に知識として見て頂くためのものを展示の形で用意をして行くにあたって、展示物の用意で何かご協力いただけないでしょうか？</p>
<p>いなげや</p>	<p>商品が代表的な商品とかを展示していただくっていう形でこういったものを取り扱っているとか、例えば栄養バランス弁当ですとかそういったものをそちらをお持ちすることはできますけれども、人がついてそこをPRするっていう人はいないので、そういうスペースがあるのであれば、認定していただいた商品をお渡しするとか、持っていくのはできます。</p>
<p>事務局 (佐藤)</p>	<p>ありがとうございます。おそらくひまわりさん、池田屋様も当日出展されるので、こちらの会場に来てっていうのは難しいかと思うんですけれども商品の提供ですとかそういった紹介をするっていうところに関して、実施をしている店舗それぞれの様子っていう所が知れるような内容のものを食育ブースの中で作っていけるといいのかなと思っていますので、見本となる現物ですとかそういったもののご提供でも構わないので、ぜひともご協力よろしくお願いします。</p>
<p>いなげや</p>	<p>スーパーマーケットですから、結構ご来店下さる方多いのでそういうところでは認知していただくポスターとかあればイベントのポスターを掲示するとか、リーフレットみたいなのがあれば、サッカー台に置いておくとかそういったことはできます。</p>
<p>事務局 (佐藤)</p>	<p>ありがとうございます。ぜひ店頭の方でもこういういった取組を始めて、実施しているとかわかるような形でリーフレットの配布などにもぜひご協力よろしくお願いします。</p>

司会	続いてヨーカドーさんいかがでしょうか。
ヨーカドー	いなげやさんと同意見です。
司会	ありがとうございます。
ぼけっと	全体を通して、何か確認しておきたいとかご質問等あるでしょうか。
セブンイレブン	セブンイレブンさんはいかがですか？
(岡崎店長)	昨日と明日とで商品展示会を3日間やっております、本部のものが欠席しております。11月ですので本部の方で秋冬に関する商品は今検討していると思いますので、商品自体は全部入れ替わると思います。
司会	本部の方と調整させていただきますのでよろしくお願いします。当日までのスケジュールをP18にお示ししているんですけども、この後はメイン会議として担当部会という形で進めていきたいと思っております。担当部会のメンバーなんですけれども、今回の企画で参加していただきます、子育て世代包括支援センターの代表の方どなたか、農業後継者倶楽部さん、
	ぼけっとステーションさん、長寿あんしん課さん、福社会さん、ひまわりさん、池田物産さん、行政職員の栄養士の方で調整をさせて頂いて進めて
	いきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いします。では、他にご質問等なければ、よろしいでしょうか。次回はイベント運営部会としまして10月上旬頃にお声をかけさせていただきたいと思っております。全体での会議は、
	年明け後を開催予定しておりますので、改めてご連絡をさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。担当部会の方には、この後
	にお時間あればお残り頂いて日程だけ調整させていただければと思っておりますのでよろしくお願いします。私事なんですけれども、9月いっぱいをもちまして退職することになりました。皆様にはコンソーシアム会議の準備会からここまでやって来ることができましたことを心より感謝を申し上げます。今後とも食育推進コンソーシアム会議、和光市の食育を発展させてい
	きたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いします。今までありがとうございました。以上をもちまして、第2回会議を閉会いたします。本日はお忙しい中お集まり頂きましてどうもありがとうございました。

